

山口情報芸術センター[YCAM] 2025年度事業ラインナップ

YCAMの2025年が始動！

多種多様なイベントから「世界」を見つめ直す

山口情報芸術センター [YCAM] では、2003年の開館以来、メディアテクノロジーを軸とした新しい表現の探求を続け、展覧会や公演、ワークショップや映画上映など、幅広いアプローチで山口から世界に向けて発信してまいりました。

近年、情報メディアを巡る環境も大きく変化しました。スマホをはじめとした情報通信機器は、報道などの情報を取得するだけでなく、写真やメッセージを利用者同士が相互に送り合うなど、より個人の生活に密着してきたと言えます。しかし一方では、個人の趣味嗜好に沿った情報提供により、利用時間の長時間化と、広告売上の向上を目指すシステム設計全体が、社会的分断やメディア依存症といった新たな課題も呼び起こしています。環境から得る情報によって私たちのアイデンティティが形作られているならば、これらの新たな課題に対し、アーティストや研究者らとともに創造的かつ、批評的に捉え直す必要があります。

YCAMはイベント開催、事業運営を通じて、私たちにとってメディアとはなにか？という問いを考え続けます。そして作品の制作と発信により地域の文化と人材を育み、山口の魅力を高めることへと繋げていきます。一連の活動にぜひご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 メールアドレス：press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <https://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山並みの屋根が特徴的なYCAMの外観（撮影：勝村祐紀）

scopic measure #17

Maya Erin Masuda

展覧会

7月5日(土)～11月2日(日)



《Pour Your Body Out》(2023年)
写真：アーティスト提供

新進気鋭のアーティストを紹介する 展示シリーズ、第17弾を開催！

ベルリンを拠点に活動するアーティスト、Maya Erin Masuda (マヤ・エリン・マスダ) の新作を発表する展覧会です。

マヤ・エリン・マスダは放射線で汚染された土地に住む動物の遺伝子変異や、環境汚染がもたらす皮膚異常、そしてそこに垣間見える分子的な親密さについて綿密なリサーチを行ってきました。展覧会では映像や水槽、液体といった要素が有機的に繋がり循環する、新作インスタレーションを展示します。本展のテーマは、目に見えにくい「毒性」や、それとともに生きざるを得ない現実、また人間と周囲のさまざまな存在との間を結ぶ両義的で親密な関係性です。

イベント

コロガルあそびのひゃっかてん2025

夏会期:7月12日(土)～9月15日(月・祝)
冬会期:11月29日(土)～2026年2月1日(日)



コロガルあそびのひゃっかてん会場の様子
撮影：山中慎太郎 (Qsym!)

子どもたちが育む学びの場が 百貨店内部にオープン！

子どもたちが遊びを通じて自ら考え、創造するための環境としてデザインされた遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版です。会場は山口市中心市街地に位置する百貨店です。百貨店や商店街の特性を生かし、子どもたちのアイデアに対してさまざまな人たちからフィードバックを受けることで、遊びを通じて他者や社会とつながるコミュニケーションツールとしての公園を実現。山口市と進める「アートでつなぐまちの活性化事業」の一環として実施します。

公演

岩井秀人の「いきなり本読み!」

7月12日(土)



一回限りのキャスティング! 出演者たちの化学反応も見どころ

「出来上がった作品を見るより、稽古場の方が絶対おもしろい!」そんな岩井秀人の発想から生まれた、初見の台本読み合わせを行うライブ公演です。本番のステージ上で初めて台本を開いた俳優たちが、岩井の進行のもと、さまざまな役を演じることで、「俳優」「台本」「演出」というそれぞれの役割が絡まりあいながらダイナミックにドラマが立ち上がっていく様子を、その場で見て、感じることができる、舞台公演です。

公演

ゆうくんとマットさんの「かいじんハテナ?」

7月26日(土)



©水戸芸術館ACM劇場
写真: 刑部アツシ

子どもたちに大人気の読み聞かせユニットによる、 舞台シリーズ最新作!

絵本の読み聞かせユニット、ゆうくんとマットさんによる舞台シリーズ最新作の公演です。今回、原作となった絵本は、怪人と少年の不思議な交流を描いた絵本『かいじんハテナ?』(作: 舟崎克彦/絵: スズキコージ)。チェコを拠点に世界で活躍する人形劇師、沢則行の監修のもと、人形をふんだんに取り入れた舞台美術と影絵や歌をたっぷり盛り込んだ、子どもも大人も一緒に楽しめる舞台公演です。

Yamaguchi Seasonal 2025 坂本龍一+ YCAM InterLab

展覧会

Forest Symphony

8月8日(金)～11月30日(日)



坂本龍一+ YCAM《Forest Symphony》
撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

樹木の生体電位を用いた坂本龍一の名作を、 山口の名跡で再展示

音楽家／アーティストの坂本龍一とYCAMのコラボレーションによるインスタレーション作品《Forest Symphony》の展示です。

YCAMがこれまで制作／発表してきた作品を、山口市の中心市街地や史跡で公開する展示シリーズの一環として開催します。本作は世界各地の樹木の生体電位のデータからサウンドを生成する作品で、2020年から「雪舟庭」で知られる山口市の常栄寺にて期間限定で展示を重ねており、今回が開催6回目となります。

イベント

真夏の夜の星空上映会 2025

8月8日(金)～10日(日)



イベント開催の様子(2024年)
撮影：谷康弘

YCAM夏の風物詩、今年も開催！

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。多彩なジャンルの映画を上映することから、親子連れからお年寄りまで多くの方が来場し、YCAMの「夏の風物詩」として、大きな賑わいをみせています。2025年も3日間に渡り3本の映画を上映します。

イベント

YCAM 爆音映画祭 2025

8月28日(木)～31日(日)



日本最強の爆音映画祭

YCAMの音響環境を最大限に利用し、繊細な大音響で映画を鑑賞する上映イベントです。爆音映画祭とは、映画評論家の樋口泰人が国内外で開催している上映イベントで、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーを用いて映画を鑑賞するものです。今年も樋口の監修のもと、国内でも最高レベルの音響環境といわれるスタジオAを会場に、工夫に溢れたセッティングで上映を実施し、これまでにない映画体験を創造します。

オロン・カツ + イオナット・ズール + スティーブ・ベリック新作展

展覧会

ザ・メタボリック・リフト・プロジェクト

10月11日(土)～2026年2月22日(日)



食糧システムの現在を問う、 実験型パフォーマンス&インスタレーション

オーストラリアを拠点に活動するバイオ・アーティストのオロン・カツ、イオナット・ズール、スティーブ・ベリックによる研究成果を発表する展覧会です。

本展は、自然要素を人工的な代替物に置き換える農業技術(AgTech)を応用し、食糧生産における、持続可能な循環システムを考えるプロジェクト「ザ・メタボリック・リフト・プロジェクト」の成果を発表するもので、実験型パフォーマンスとインスタレーションによる作品を公開します。

イベント

YCAMオープンラボ2025

10月18日(土)、19日(日)



YCAMオープンラボ2022 遍在するアートセンター開催の様子(2022年)
撮影: ヨシガカズマ

世界のラボと考える、 芸術とテクノロジーの新たな可能性

カンファレンスを軸に、展示やワークショップを通じてYCAMの研究開発活動を体験できる複合型のイベントです。開催7回目となる今回は、「太陽と土はまだ必要か?」と題し、国内外の研究所や教育機関から、識者や研究者を迎え、食糧生産問題や農業システムの現在を問うカンファレンスやワークショップを開催。展覧会「ザ・メタボリック・リフト・プロジェクト」の関連イベントとして実施します。

佐々木蔵之介

ひとり芝居「ヨナ」

公演

11月8日(土)、9日(日)



国際共同制作による、演劇の原点に立ち返る一人芝居!

ルーマニアのシビウ国際演劇祭とともに創る、新作舞台です。マリン・ソレスク作一人芝居「ヨナ」をルーマニアの巨匠シルヴィウ・プルカレーテが演出し、佐々木蔵之介主演で上演。大きな魚の腹に飲み込まれ、三日三晩過ごした後この世に復活したという聖書の預言者、ヨナのエピソードをもとに展開されていく物語。演劇の原点に立ち返るような、新感覚の舞台を上演します。

公演

YCAM + 振子びじん新作パフォーマンス

会期:12月12日(金)~15日(月)、18日(木)~20日(土)



nej&co. 「Sign」「Cue」(2024年)
撮影: 脇田友 / スピカ

AI・ロボットとこれからどう付き合っていく？

YCAMがクリエイションする子ども向けパフォーマンス

振付家・ダンサーの振子びじんと、現役エンジニアでSF作家の斧田小夜とともに、YCAMが子どもたちに届ける新作パフォーマンスです。

物語の舞台は学校の教室。そこではどうやらAI（人工知能）やロボットが働いているようです。——ロボットはどんな世界を見ているの？先生がAIだったら勉強はもっと楽になる？——急速に発展するテクノロジーが私たちの生活のあらゆる場面で身近になっていく今、子どもたちに未来を問いかける体験型パフォーマンス作品。

アダム・キナー&クリストファー・ウィレス

MANUAL (マニュアル)

公演

2026年1月23日(金) ~ 25日(日)、30日(金) ~ 2月1日(日)



MANUAL (2022年)
写真: David Wong

図書館を舞台に開催！

感覚をときほぐすパフォーマンス

アーティストのアダム・キナーとクリストファー・ウィレスが世界各地の図書館で開催してきた、観客とパフォーマンスが一对一で体験するパフォーマンスです。

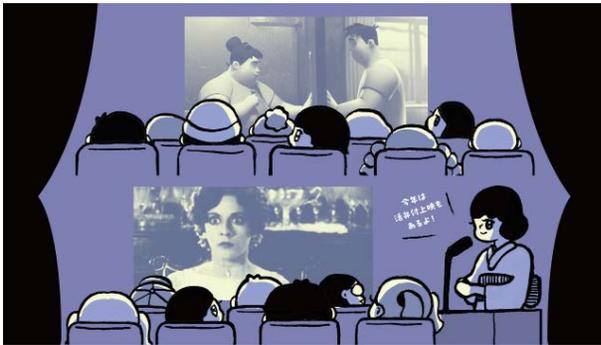
観客は開館中の図書館の中をパフォーマンスとともに歩きながら、一緒に本を眺めたり、読んだり、イヤフォンから流れる音に耳を傾けたりします。普段は気が付かなかったような景色、めくったことのないページに誘導されながら、図書館という場所や本が持つ広い世界を探検します。

ショートフィルム フェスティバル in YCAM 2026

supported by ShortShorts

映画

2026年2月11日(水・祝)～15日(日)



ショートフィルム フェスティバル in YCAM 2025メインビジュアル (2024年)

アジア最大級の短編映画の祭典が山口に登場！

アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート国際フィルムフェスティバル」の作品を紹介する上映会です。劇場のスクリーンで見る機会の少ない世界の短編映画を紹介することで、短編映画だからこそできる表現の可能性に触れる機会を創出するとともに、映画鑑賞のきっかけとなるような関連イベントも多数開催します。

sound tectonics (サウンドテクトニクス)

2026年2月21日(土)

イベント



sound tectonics #27 Coding Discussion開催の様子 (2024年)

撮影：田邊アツシ

YCAMが誇る音響システムのなかで聴く、最先端のライブイベント！

国内外の最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズです。今回は、生体組織、バクテリアや生体系といった生命プロセスから得られるデータを元に独自のサウンドを生成する試みや、その過程で発せられる音声から構築したサウンドなど多岐に渡る表現活動を行うサウンドアーティストをゲストに迎え、ライブコンサートを実施します。

やまぐちアートコミュニケータープログラム2025

「架空の学校アルスコーレ」

イベント

通年



やまぐちアートコミュニケータープログラム2024開催の様子（2024年）
撮影：塩見浩介

アートや学びに関するイベントのノウハウを身につけよう

アートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成する長期間のプログラムです。

このプログラムは、公募で集まった市民を対象に実施するもので、イベントの企画制作に必要な「観る力」「面白がれる力」を期間中に行われる実践を通して習得。中心市街地で行うワークショップや展覧会、イベントを通じて成果を公開していきます。山口市と進める「アートでつなぐまちの活性化事業」の一環として実施します。

YCAM シネマ

映画

通年



会場となるスタジオC
撮影：勝村祐紀

古典から最新作まで幅広く上映

国内外の優れた映画作品を紹介する上映会を開催しています。映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、今年も古典から最新作まで幅広い時代の、さまざまなジャンルの映画の上映をおこないます。

また上映にあわせて、監督や出演者らのトークイベントも随時開催予定です。